

3 自然動態

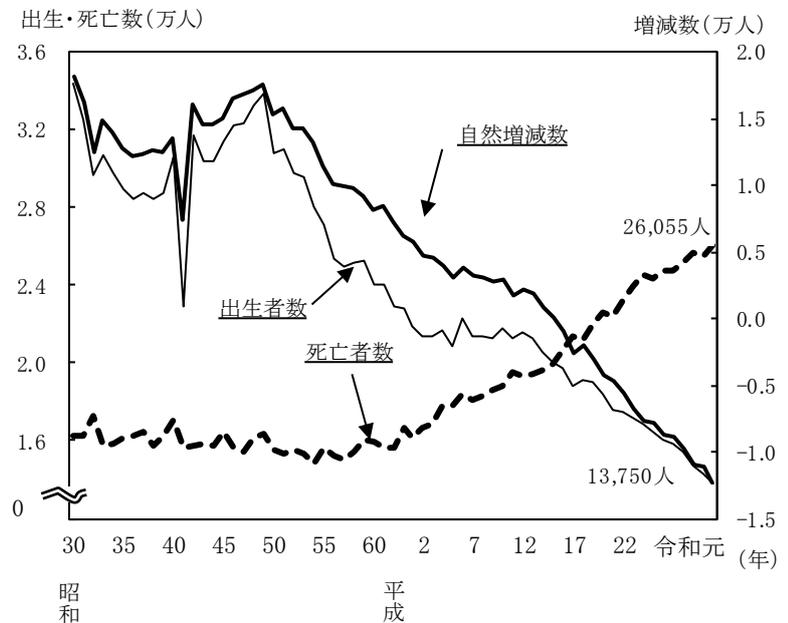
自然増減数 △ 12,305人 前年比 △ 1,145人

令和元年中の自然動態をみると、出生者数が13,750人で、前年に比べ601人減少し、死亡者数は26,055人で、前年に比べ544人増加しています。

昭和30年以降の自然増減数の推移をみると、昭和41年のひのえうまの大きな減少を除き、増減が繰り返されたものの、昭和49年まで増加傾向となっていました。その後急速に減少傾向となっています。

また、平成16年に死亡者数が出生者数を上回る自然減に転じてからは、16年連続で自然減となっています。(図6、5ページ表2)

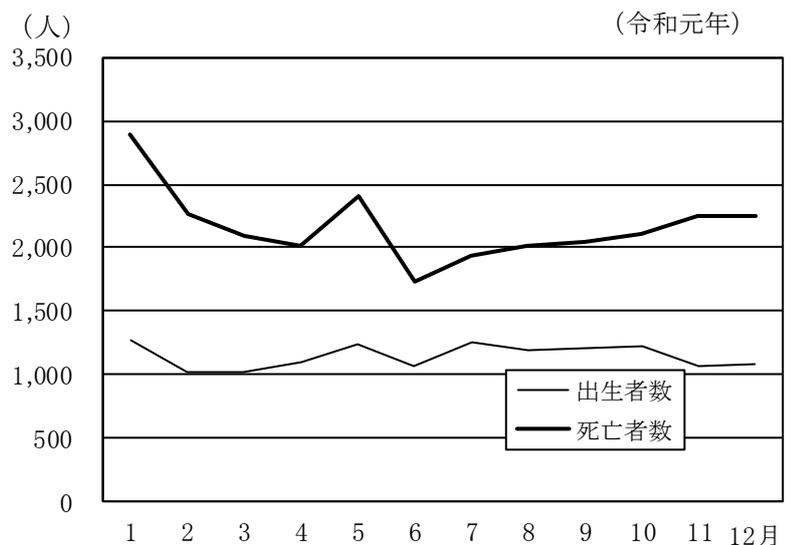
図6 自然動態の推移



出生者数を上回る死亡者数

令和元年の各月の自然動態をみると、各月とも死亡者数が出生者数を上回っています。(図7)

図7 月別自然動態



自然増加 1村 自然減少 76市町村

自然動態を市町村別にみると、1村が自然増加、76市町村で自然減少となっています。

自然増減率が最も高いのは、南箕輪村の0.10%となっています。

一方、最も低いのは、天龍村の△3.80%で、以下阿南町△2.47%、上松町△2.41%の順となっています。(6ページ表3)